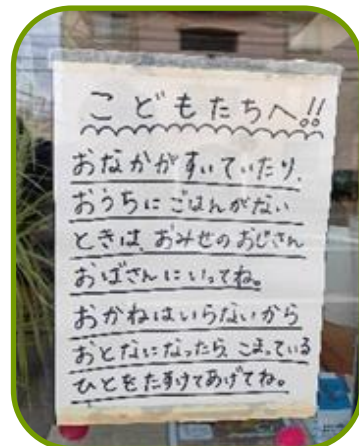


まちの話題

ひびき合う 見守り言葉

子どもたち から大人へ

町内の小学4年生は授業で、眼の不自由な人の大変さを学びます。教壇に立つのは町内で活躍する点訳ボランティアの皆さん。児童は、障がい者の深い困難と、支えようとする大人に向き合います。貴重な出会いを通じて、やがて見知らぬ誰かに ごく自然に声かけできる優しい人になるでしょう。『こんにちは。何かお手伝いしましょうか？』



【入口ドアの貼り紙】

大人から 子どもへ

町内には、子どもたちを守り育てる熱心な団体活動が多くあります。（次号で紹介予定）

また、個人としても、子どもたちを支えようという大人は少なくありません。

町で見かけた貼り紙（写真）に込められているのは、得意なこと、自分のことで地域の役に立てるなら、という店主の思いです。『自分も子どもころ、地域のお店の人に声をかけてもらったり、優しくしてもらったから…』

皆さんもそんな経験があるのではないのでしょうか。困難を抱える子どもたちをそっと支える大人の存在や、ひと声ひと助けは希望です。人はみな“自分の力ではどうしようもないこと”を“誰かの思いやり”で支えられて生きているのですから。

サポセンの話題

ふるさとまつり(10/22)会場で 会いましょう

サポセンに登録している多くの団体が今年も活動写真展示とミニイベントを行います。どうぞお越しください。

【昨年の様子】



あとがき

2頁の「あいちゃんサービス」は、画期的な人助け活動です。この空前の『支援力』に必要な不可欠なのが『受援力』。助けを積極的に求め 受けることです。どこでどうすればいいのか、はずかしめを受けないか…。『受援簡単』『受援当然』でこそ健全で安心な社会◎

※4頁「まちの話題」を募集しています。人と町をほっこりさせる情報をお寄せください。

〔参考・引用文献〕2頁下枠の「絵本」は「ぼく モグラ キツネ 馬」（飛鳥新社）

《あいかわ町民活動サポートセンター》

〒243-0392 愛川町角田251番地1
（役場裏の分館＝文化会館との間）

TEL：046-205-1323

FAX：046-205-1324

Eメール：ai-saposen@bz01.plala.or.jp

サポセンHP



【開所時間】 9:30から17:00まで
但し、木曜（祝日を除く）は19:00まで

【休所日】 毎週水曜、年末年始、施設点検日
（水曜日以外の祝日は開所）

【利用予約】 打ち合わせや機器を利用する
ときは、事前に電話予約をして下さい。

※ 掲示物等を見るだけの入室は予約不要

さぽせん あいかわ



【発行】 あいかわ町民活動サポートセンター（年2回） 【編集】 広報紙編集委員会

出会いと つながりを めざして

「アフターコロナ」の団体活動を 支えるサポセンのスタッフ

「3年ぶりのイベント」など、明るい話題が多くなりました。
大切な「人のつながりや団体活動」が盛んになるよう、
サポセンのスタッフは、今後ますます団体支援に努めます。



【サポセンの事業を担うスタッフ】 募集中！

① 約10名で交代しながら、毎回一名が勤務しています

② 身分は会計年度任用職員で、採用は公募です

◆◆ 団体支援に意欲ある人を大募集中です ◆◆

※ サポセンの設置運営は町（行政推進課）。スタッフOBなど若干名が「支援委員」として 後方支援。

自発的な思いで社会や人に役立つ活動をしている団体を紹介します

今回は、困難を抱える人を手助けする団体です。社会の変化に応じて変わる課題（家族で▶社会全体で▶一部は地域で）を受けとめます。

家族介護者に寄り添い続けて31年 ● 福寿草の会（1992年7月～）

始めたころは、介護はもっぱら「嫁」の仕事とされていた時代でした。「恍惚の人」が流行語になるなど家族介護が社会問題になる中で、介護者どうしが悩みを分かち合いたいと集いました。

主な活動は、2か月に一度顔を見ながら話し・聞き・うなずき・励まし合うことです。関連情報を伝えあうことも大切です。出席できない人には手書きの「たより」（写真）を渡していました。



介護保険（2000年創設）は、介護の社会化つまり みんなで行うということですが、この公的な支援策は極めて大きな助けになりました。

その上、施設利用の拡大と女性の社会進出で、会の役割は薄れつつありますが、それでも介護に悩む方たちの力になればと願い、ささやかでも仲間との集いや学びを続けたいと思っています。

“2025問題”を地域で乗り越えたい ● あいちゃんサービス（2022年7月～）

2年後に団塊世代が全員75歳を越えます。社会保障全般が重くなる一方の時代に、障がい者や高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らせるためには？模索7年会議百数十回を経て遂に誕生しました。



高齢者・障がい者のちょっとした困りごとをサポートします。買い物・洗濯・掃除・ごみ出し・通院補助など「動ける人がいたら頼みたい」という願いに応えます。

料金は、1時間300円です。（詳しくは会に）

利用する人、ボランティアする人募集中です
☎ 090-8364-2111 ◆火・木 9-15時

「たまたま必要とする人に、たまたまできる人が手伝う」ものですので、ためらいや恥じらいはいりません。どうぞお気軽にご利用ください。

“たすけて” と言える まち 受けとめてもらえる まち

“たすけて”は、困難の中にいる人が、未来をたくり寄せることのできる言葉です

“いちばん ゆうかな ことばは？” “たすけて”
“いちばん 強かったのは いつ？” “弱さをみせることができたとき”

絵本からの引用
※4頁参照

集う 楽しさ・大切さ

サポセンで摘(つ)んだ 言の葉たち



ふるさと時間
満喫させたい

今日は子ども会で使う資料の印刷で来ました。子どもたちに たくさんの思い出を刻んでほしい、と思っています。

「自己満足です」と
ほぼ笑み返す人々



新会員の研修で利用しました。ボランティアに不可欠な「対象者本位」「尊厳尊重」を共有するためです。会員として何より嬉しいことは自分自身が喜んでいることです。

81歳の
デビュー

去年の秋、町内で開かれた高齢者の将棋全国大会を見ました。年齢は関係ないと思ったんです。



本当の初級者なんですけど思い切って入会してよかった。仲間に出会えて本当に楽しいですよ。

“前と違う”こそ道ひろく



印刷したのは防災資料です。どんな団体も10年前と同じでは会員離れが進むのは当然です！

時代の変化への 新たな対応が必要だと思います。高齢化で難しくなった業務は簡素化する一方、安否確認グッズを配るなど会の大切さや効果が見えるようにしたい。

新規登録団体の紹介

この半年にサポセンに登録された団体です

● はねやすみ

不登校・ひきこもり親の会

登校しぶり・不登校を語り合う親の居場所です。毎月「春日台タウンカフェあい」で開催。傾聴と共感により親の孤立を防ぎ、情報交換により多様な学びや教育を考えます。



● NPO法人ラグレーヌ

野菜の直販等から広げる農ある文化

高齢化などで衰退しがちな農家を支援し活性化をめざしています。

また、消費者とのふれあいや食育、食文化の継承、環境保全、町おこしにも寄与します。



● 愛川合気道会

健康増進と護身に

合気道は競技を行いません。習熟度に合わせて繰り返し、技の上達をめざします。どなたでもOKです。第一号公園体育館で毎週日曜日9時から。見学も体験参加も歓迎します。



● 非営利組織 寺子屋くすくすの木

誰もが良い教育を受けられるように

基礎的な学習（読み書きそろばん）を無料支援しています。不登校児童生徒や外国にルーツをもつ子どもを取り巻く課題の解決をめざして、地域力を生かした事業を展開します。



サポセン内には、登録団体（約140）の活動資料があります。概要はホームページでもご覧いただけます。